

平成26年(2014)1月23日(木曜日)

第824号

地道な日頃の研鑽が事業体力を高める

町田市経営診断協会理事長 猿山康継

さやまやすつぐ



新年明けましておめでとうございませう。

たいへん変化の大きな年になっていきますが、各事業者のみなさんにおかれましては、先手必勝にて、変化を捕まえて進まれることを切に願うものです。

町田市の財産は人材です。私どもは、町田市や相模原市、川崎市、多摩市など、町田近隣に住んでいるコンサルタントが集まってチームを組んでいます。30人近いコンサルタントチームにて、地

元の活性化に役立ちたいと願っています。町田市経営診断協会は創立35周年を迎えました。前丸山理事長以下会員の永年の努力を、さらに新しい動きに変化させて「活動するチーム」を目指しています。

昨年八月には、さらにもう少し広域のメンバーとも連携して「一般社団法人多摩経営工房」という組織を作り、幅広く活動できる素地も作りました。あわせてよろしくお願いたします。

【社内の人材育成に役立つために】

二〇一二年二月の町田商工会議所の景気動向調査では、企業の経営課題のトップは「販売の拡

大、「企業内部の課題」としては「管理者や社員教育」があがっており、私どものお手伝いの可能な分野とみて、二〇一三年から「リーダー養成塾」を企画し、多くの方々に参加・研修を受けていただいています。今年も継続して行きます。

【変化への対応が一番の課題】

当時の調査でも、売上を伸ばしている事業者は、新規顧客開拓や新製品・新サービスの開発、優良顧客へのアプローチの強化、人的ネットワークの活用など、積極的な経営活動をしています。したがって、あげる課題には人材の育成などが大きくクローズアップされて

きます。一方で売上減少傾向の事業所は、その要因として変化への対応が不十分とあげています。

【専門家派遣制度の利用】

町田商工会議所では、国が中小企業を支援しようとする場合の、中心となる窓口役として昨年立候補して、関東地区では47の「地域プラットフォーム」の一つに認定をうけています。プラットフォームとは、中小企業の事業の活発化のための、国に代わっているいろいろなイベントやセミナーなどを企画し実施をする組織です。中でも「専門家派遣」の仕組みは、事業の活性化のために、まずは「どこに切り口があるか」専門家の意見を聞く良いチャンスになります。その後、本気に対応する必要があれば、複数日の専門家派遣を利用したり、多少の費用はかか

ってもコンサルティングを受けたりするのが早道です。

【連携の時代】

だいぶ前から言われていますが、今の時代は中小企業にとって「連携」の時代です。チームを組んで知恵を出して、集客の工夫、顧客ニーズを引き出すような商品の開発、技術の連携による共同受注など、互いに切磋琢磨と協力体制がなにより必要な時です。互いのコミュニケーションを良くして精神的に進めることで、地域力を高めなくてはなりません。